

## その他、地域特有の取り組み

### ■ 学校設定科目「伝統技法」の新設（栃木県）

栃木県には世界遺産の「日光の社寺」をはじめ多くの重要文化財がある。地元の今市工業高等学校では、寺社建築の特徴である平葺き屋根や彫刻等の伝統技法を継承し、専門人材の育成を目的とする学校設定科目「伝統技法」を新設した。



銅版を機械で折り曲げ加工する

### ■ 市民講座の開催などの地域連携活動（宮城県）

宮城県白石工業高等学校は、白石市役所・建築士会と共催で、地域住民を対象とした地震防災講座を実施。生徒が講師役となり、地震のメカニズムや家具の転倒防止対策などを説明して、地域の防災意識の高揚を図った。同校では福祉施設の塗装作業にも取り組んだ。



市民講座の様子

### ■ 共同研究（長崎県・兵庫県）

長崎県鹿町工業高等学校では、地域にある橋梁30数カ所を検査し、ひび割れ、剥離等の状況を調査した。生徒が主体となり、調査計画の立案から橋の点検・記録、調査結果を点検表にまとめて役場に提出するまでの一連の作業を行った。長崎県大村工業高等学校では、日常使っている自転車道の通行環境の調査、兵庫県東播工業高等学校は、葦刈り作業を通じて河川敷の整備状況や葦の利活用について調査している。



コンクリートのひび割れを調査

### ■ 建設業仕事説明会（栃木県）

栃木県では、建設業や電気工事業の経営者・技術者が、建設業28業種やその仕事内容を紹介する仕事説明会を開催。1年生を対象として、対話形式で行われた。初年度は1校であったものを、今年度はモデル校すべてに拡充した。



仕事説明会の様子

### ■ 多彩な副教材の開発（栃木県・新潟県・長崎県）

「技術者等による学校内での指導」等をまとめた副教材は、密度の濃い多彩な内容となっている。栃木県や長崎県では複数のテーマについてテキスト教材を作成し、新潟県では動画を収録したDVD映像教材を作成している。



栃木県が作成した副教材